

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

<PPP事業部>

<広島市留学生会館>

当館では、日本伝統文化体験イベントとして、2月17日～3月1日の間、「ひな祭りウィーク」(折り紙・ちぎり絵・書道)を開催。続いて3月21日には神楽を開催します。(昨年に続き2回目)。当日は、バトントワリングで日本を表現した演技披露も実施。今年度最後の人気企画です。是非留学生会館へお越しください。

<廿日市市市民活動センター>



当センターでは、廿日市市のまちづくり活動事業として、「廿日市市市民活動フェスティバル」を3月1日(日)に開催します。今回で3回目です。

当日は各団体の日頃の活動状況を紹介する展示や発表会、飲食、ゲームコーナー等、楽しい企画を準備しています。

是非お越しください。お待ちいたしております。



<SP事業部>

年度内の工事に関する見積書の提出依頼が複数件あり、決定に至った案件があります。得意先からの情報収集を行い、売り上げ確保に向けて営業活動を実施します。各事業所で内装工事などの案件がありましたらお知らせください。(SP事業部 082-230-0013 三澤)

<クレンリネス事業部>

このたび、北部医療センターにて環境改善の一環として、お掃除ロボの導入をいたします。日常清掃の効率化と美化向上を目的としております。導入中の機械は、乾式タイプ(掃除機タイプ)のもので、もう1台湿式タイプ(洗浄機タイプ)も導入予定です。他の事業所でも随時導入を検討していきます。

<FM事業部>

2月は全国的に最強寒波が到来しました。寒波とは急激な寒気が原因で、空気が一気に低くなることを指し、建物への影響としては、屋外でむき出しの水道管や温水器配管、バルブ等の凍結や破裂が心配されます。万一水道管が破裂した場合、迅速な止水措置が必要となるので、給水配管系統並びに止水バルブの取付場所を把握しておくことは、被害を拡大させないための重要な対策です。また積雪や凍結による労働災害及び歩行中の転倒、自動車事故にも十分注意しておきましょう。

<セキュリティ事業部>

2月8日(日)の衆議院議員総選挙に伴い、当社は15投票所へ計45名の警備員を配置し、投票所警備業務を実施しました。当日は大雪の中、早朝から夜間までの長時間対応となりましたが、各現場が連携し、事故・トラブルなく無事に業務を完了することができました。

また、社内他部門からの応援により円滑な体制を確保できましたことに感謝申し上げます。



現在は試験会場警備も集中する時期であり、引き続き来場者の安全確保に努めてまいります。

＜東京支店＞

私が通勤で使用している東京メトロ日比谷線車内で、乗客が所有していたモバイルバッテリーが発火する事案がありました。このところリチウムイオン電池の事故が目立ち、大きな話題となっています。スマートフォンやモバイルバッテリーなど、私たちが日常的に使う機器にもリチウムイオン電池が使われています。便利な一方で、誤った使い方や劣化した状態での使用は火災につながる恐れがあります。この機会に消費者庁 HP 等に記載されている取り扱い方法や注意事項を確認し、安全に過ごしましょう。

＜安全衛生管理委員会＞

今年に入り 3 件の事故が発生し、その内 2 件が転倒によるものです。幸いにも休業を伴う事故とはなりませんでした。転倒事故は業務中の事故だけでなく日常生活の中でも起こり得る事故です。骨折となれば長期の休業を伴う事故に繋がります。1 件でも転倒事故を無くすためにも、一人一人の心掛け（転倒しないための体づくりやながら行動を行わないなど）が大切になってきます。今期も残すところ、1 か月余りとなりました。無事故無災害で、新年度を迎えたいと思います。ご安全に！！

＜磨種（とぎぐさ）＞

私は長年『週刊新潮』に連載されていた「管見妄語」を通じて、数学者・藤原正彦氏を知りました。その後、氏の母である故・藤原ていさんが引揚げ後の体験を綴った『流れる星は生きている』が戦後最大級のベストセラーを生み、また、その夫である故・新田次郎さんが『強力伝』で直木賞を受賞した作家であることを知ったのは昭和 57 年 4 月、私が（株）大中建装に中途入社した頃のことでした。

藤原家は戦後間もない時期に中央線・国立駅周辺に居を構え、長い年月をかけて庭木が育ち、あれからおよそ 80 年、今では“まるで森のようだ”と随筆にも記されるほど豊かな緑に包まれているという話を耳にするだけで胸が高鳴るのは、藤原正彦氏が少年時代に愛読していた『愛の学校 クオレ』の存在を知っているからかもしれません。

藤原正彦氏が少年時代に愛読していた『愛の学校 クオレ』は、イタリア統一後の 150 年前に書かれた少年向けの物語で、機械技師の息子で優等生のデロッシ、子牛のように力強く弱い者の味方であるガツローネなど、魅力的な登場人物が生き生きと描かれています。物語を通じて“どう生きるか”という価値観を学び、夢を描き始める——そんな読書体験が、藤原氏の随筆に流れる品格や温かさの源になっているのかもしれません。私たちの仕事もまた、日々の積み重ねが未来の「森」を育てていきます。社員一人ひとりの努力と志が、会社の成長を支える大きな力となることを心より願っています。



話は変わって、1 月末から冬季国体八戸大会に県スポ協の方々と参加し足掛け 24 回目となりました。同じ青森県でも日本海側と太平洋側では雪の量が異なり、雪害となる地域の方々のご苦労が心配されます。

その昔、照る日曇る日という時代劇の NHK テレビ番組があり江戸時代の長屋生活で起きる事件が庶民の知恵で解決する物語でしたが、日本の歴史の中で生き残っていて、甦らせなければならないのは江戸の文化に育まれた明治の気骨・惻隠の情であり、新しい AI や DX 化では解決できない、日本人の心の中に息づくコンセプトの復興がまたれます。（株）オオケンのコンセプト（5S と ABC の徹底実践）の底流には『己に徹して人の為に生きよう』というコンセプトが流れています。